

令和8年度 感染症危機管理リーダーシップ研修 研修スケジュール案（長期）

厚生労働省委託事業 感染症危機管理リーダーシップ人材育成事業

研修目的

本研修は、公衆衛生行政、医療、感染症疫学や臨床等に関する専門的な知見、経験を有する、既存の多様な職種の感染症専門人材に対し、地域における将来の感染症危機への対応において各々がリーダーシップを発揮できるよう、感染症危機管理に必要な、多様かつ分野横断的な知識やスキルの修得、維持、向上を図ることを目的とします。

研修内容

約1年間、eラーニング、対面研修、研修機関における実践研修（OJT）、フィードバック会、机上演習、外部講義を通して、地域の感染症危機管理においてリーダーシップを発揮できる人材に求められる能力（コンピテンシー）の獲得を目指します。

eラーニング (2週間程度)

- 目的：地域の感染症危機においてリーダーシップを発揮する人材に必要な知識を学び、コンピテンシーの基礎を築く。
感染症危機において関連機関が果たす役割を理解する。
- 内容：感染症危機管理に関する基本的な知識、関連機関の講義等をオンライン教材で学習。

対面研修 (2日程度)

- 目的：eラーニングで学習した内容を実践することで、知識の深い理解・定着を促す。
- 内容：講義、ディスカッション、フィードバック等で構成されたプログラムを受講。

実践研修（OJT） (約12ヶ月)

- 目的：感染症危機管理に関する機関の役割や業務を理解し、感染症危機時における分野横断的な調整力を身につける。
- 内容：研修機関における実習・見学。
【研修機関】
 - ・厚生労働省（検疫所含む）
 - ・内閣感染症危機管理統括庁
 - ・国立健康危機管理研究機構
 - ・所属自治体の県庁、保健所、地方衛生研究所（所属経験がない部署を優先とする）

フィードバック会 机上演習 or 外部講義 (月1回を目安)

- フィードバック会
 - 目的：研修生自身の目標に基づいて内省を深める。
 - 内容：他の研修生等との意見交換を通じて内省を深め、自身の目標に沿って課題や成長を振り返り、今後の計画を再度検討する。
- 机上演習
 - 目的：感染症危機時の判断や意思決定のプロセスを実践的に学ぶ。
 - 内容：感染症危機時を想定したシナリオに基づき、判断や意思決定を行う演習を受講。
- 外部講義
 - 目的：感染症危機時の対応事例やリーダーシップの在り方を学ぶ。
 - 内容：外部講師による感染症危機の事例やリーダーシップに関する講義を受講。

【参考】令和7年度 感染症危機管理リーダーシップ研修 研修スケジュール(長期)

厚生労働省委託事業 感染症危機管理リーダーシップ人材育成事業

研修内容	研修場所	R7 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8 1月	2月	3月
e ラーニング	各自	4/1~18											
開会式	国立健康危機管理研究機構	4/17											
対面研修	国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)	4/21~22											
実践研修 (OJT)	国立健康危機管理研究機構 (国立感染症研究所)	約4カ月 (4/1~) ※全体オリエンテーション/挨拶回り等を含む				1カ月		1カ月		約1カ月半		約4カ月 ※統括庁は、年間を通して都度 実施される訓練等へ参加	
	国立健康危機管理研究機構 (国立国際医療センター：国際感染症センター)												
	国立健康危機管理研究機構 (臨床研究センター)												
	所属自治体 ①保健福祉、保健医療系部局 ②保健所 ③地方衛生研究所												
	厚生労働省 (検疫所含む) 内閣感染症危機管理統括庁												
フィードバック会、 机上演習 or 外部講義	国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)	毎月 1 回を目安に開催										3/17	
閉会式	国立健康危機管理研究機構												

※上記スケジュールの他、他の機関等が提供している感染症危機管理に関する研修との連携を実施しております。（任意参加）